

福祉サービス第三者評価結果

事業所名	別府厚生館
------	-------

福祉サービス第三者評価結果

①第三者評価機関名

福祉サービス評価センターおおいた

②第三者評価実施期日

令和2年2月8日

③事業者情報

名 称： 別府厚生館	種 別： 母子生活支援施設
代表者氏名： 施設長 安東一夫	定員（利用人数） 16世帯
所在地： 大分県別府市立田町3番32号	
TEL： 0977-22-0418	

④総評

◇評価の高い点

複数の事業を運営する大分県福祉会の理念や方針は、法人、施設内の文書や広報媒体、パンフレット等に記載されている。母子支援施設である本施設は、特性を踏まえた追加理念を定めている。経営方針は理念と整合が確保されているとともに、職員の行動規範となっている。職員への周知と理解については、年度当初の会議や毎月の職員会議で館長が周知している。母親や子どもへの周知については、母親の利用者集会（常会）や児童自治会開催時館長がわかりやすく伝えていることを確認した。

人事管理については、法人本部が行っている。人事基準については、「法人キャリアアップ制度」基準として定め実施している。職員の意向や意見は各事業所ごとに取りまとめが行われ、法人本部において改善策を検討・実施している。

利用者の意見により、「提案箱」を人目にふれない場所に変更するなど、苦情を申し出しやすい工夫を行っている。開封は法人の第三者委員が開封している。施設での苦情や提案は、法人福祉サービス運営委員会で報告・協議がされている。苦情等内容は利用者の不利にならない配慮を行い、ホームページ等に公表している。

常会や児童自治会で児童の意向を確認して自主的な取り組みができるよう取り組んでいる。主体性を尊重し、大学進学への支援など母親の学習機会や学び直しの支援をしている。

食事会などを通じて母親同士の交流を促している。対人関係がうまくできない母親には、心理療法担当職員が面接し、母親のペースに合わせた関係の構築への配慮やストレス軽減の取り組みがなされている。

◇改善を求められる点

施設整備、暫定定員や短期措置、利用者減少など、具体的な課題や問題については役員、管理者、職員間で明らかにしていることから解決に向けて組織的な取組を期待する。

母子支援施設である当該事業所としての知識・技術や専門資格について具体的な目標が明記され、それとの整合性が確保された体系的な研究計画にもとづき、教育・研修が実施されることを期待する。

各支援について職員の一定の水準や内容を保つため、援助技術等のほか、母親と子供の尊重や権利擁護とともにプライバシー保護も含めた文書化が望まれる。

きめ細かな退所後の支援を行っているが、急な退所などがある。退所後に想定される課題などを十分に検討できる環境が確保できることに期待したい。

子ども一人ひとりの個別性に配慮した相談や支援のためにも、学習ボランティアなどの協力人的な環境整備が望まれる。

子ども同士の育ちあう力の活用のため、専門的なプログラムに基づいたグループワークの導入に期待したい。

年齢や発達段階に応じた、性についての知識や関心への取り組みが行えることに期待したい。

⑤第三者評価結果に対する事業者のコメント

前回の受審は全般にわたって改善が必要との結果でした。

これを踏まえ、職員一丸となって課題に対する改善の取り組みをしてきました。今回は全体的に改善されているとの評価をいただいたとっております。調査員の皆様からていねいなご助言やご指導をいただき課題を明確にいただいたことに感謝申し上げます。高評価をいただいた項目はさらにブラッシュアップするとともに、改善を求められた項目については、職員間で検討しながら支援の質の向上を目指したいと思っております。

⑥各評価項目にかかる第三者評価結果（別紙）

